



天台スカウト・ニュース

No.1 6

発行元：天台宗スカウト連合協議会 滋賀県大津市坂本4-6-2 天台宗務庁内
天台スカウトWEBホームページ：<http://www.tendai-scout.jp>



発行日：令和5年1月1日



天台宗スカウト連合協議会
理事長

源田 俊昭

新春おめでとうございます。

日本全土では、昨年にかけて新型コロナウイルス感染対策としてマスク着用を余技なくされ、スカウト活動もコロナの影響で制限のあった1年でありました。8月に行われた「第18回日本スカウトジャンボリー」では、規模を縮小・分散して開催されました。参加された天台スカウトの皆さん、指導者の献身なる奉仕活動に対し感謝申し上げます。

さて、本年はコロナ感染状況を注視しつつではありますが、「天台ジャンボリー」を開催し、友情を温め合おうではありませんか。

眼前には「水清き琵琶湖」、背面には「霊峰比叡山」を仰ぐ「比良げんき村キャンプ場」にて開催するべく、着々と準備を進めております。プログラムの一部を紹介いたしますと、ボーイスカウトが日本で初めてキャンプを行った湖畔の散策、比叡山において執り行われる「記念法要」そして、大会には欠かすことのできない「キャンプファイヤー」等が計画されております。

さて、あなたの人生の目的は何でしょうか？

伝教大師最澄様は「努めよ、努めよ」と最後にお言葉を残され、私たちに教えてくださいました。また、スカウト創設者のロバート・ベーデン＝パウエル卿は『スカウティングフォアボーイズ』の中で「自分のカヌーは自分でこげ」と諭しておられます。

私たち天台スカウトはこれらのお言葉を胸に刻み、来る「第10回天台ジャンボリー」においてスカウト達共々に再会し、楽しく意義のあるキャンプ生活を実践しようではありませんか。

弥 栄

予告 第10回天台ジャンボリーを開催！！

期日：令和5年7月22日（土）～24日（月） 会場：比叡山延暦寺・比良げんき村

令和5年7月22日（土）～24日（月）2泊3日の日程で天台宗総本山の比叡山延暦寺並びに大津市比良げんき村を会場に「第10回天台ジャンボリー」を開催いたします。

昭和46年に開催された第1回天台宗ボーイスカウト全国大会から数えて10回目。前回より6年ぶりの開催となります。全国の天台スカウトが一堂に会する一大イベントです。比叡山の霊気を肌で感じ、スカウト活動の原点を見つめ直す絶好の機会です。天台スカウトの皆さんのご参加を心よりお待ちしております！！



△全国から多くのスカウトが集まりました



△キャンプファイヤーで絆が深まります

ボーイスカウト足利第1団 (天台ボーイスカウト第3団) のご紹介

ボーイスカウト足利第1団は発団73年を迎えました。

戦前の少年団活動や龍泉寺童話会まで含めると90年以上にわたり青少年育成活動が続けてきました。諸先輩方の情熱が今日も継承されています。

足利第1団は国際交流を積極的に取り組んでいます。昭和52年(1977年)、青少年の視野を世界に向けた育成をするため、南台湾の屏東縣立明正中学校の童軍(スカウト)と友好団の結盟を結んだ後は、地域のスカウトとも友好の輪を広げて今年で44年目となります。

この間21回にわたり相互訪問を行い、合同キャンプやホームステイを通じて理解と友情を深めてきました。最近では令和元年8月に台湾のスカウト・指導者32名が足利を訪問し、楽しい時を過ごしたことが忘れられません。言葉も通じないスカウト達が「カタコトの英単語」「知っている漢字」「全身を使ったジェスチャー」で伝えあっている姿、そして盟友になった情景を目の当たりにしたときに団の理想が目標に近づいたことを感じました。

最近新型コロナウイルス感染症拡大のため夏のキャンプをはじめ、様々な行事・計画が中止となり、残念な思いをしています。今は力を蓄えるときと捉え、この悔しさを「バネ」に100年に向かって進んでいくことを決意しています。

第39期天台宗仏教章第2教程講習会開催のお知らせ

日時：未定 場所：未定

【参加資格】

1. 登録が完了している第2教程申込時に中学生以上のボーイ・ベンチャー・ローバースカウト・ガールスカウトはレンジャースカウト
2. 次の4項のうち一つ以上をみたすもの
 - (1) 天台宗の教えに篤い信仰の心を持つスカウト
 - (2) 天台宗寺院が育成する団に所属するスカウト
 - (3) 家の宗派が天台宗であるスカウト
 - (4) 天台宗僧侶の指導を受けたスカウト
3. 第1教程修了者
4. 山道を30キロ歩く回峰行に体力面で耐えうるスカウト

※詳細は令和5年1月中に天台スカウトWEBホームページと天台宗各団宛にご案内いたします。

天台宗スカウト連合協議会役員名簿

任期：令和3年～令和5年

理事長：	源 田 俊 昭	(足利第1団)
副理事長：	吉 川 廣 隆	(村岡第1団)
常任理事：	山 本 健 二	(大津第12団)
	： 當 麻 泰	(東京都第150団)
	： 小 鴨 覚 俊	(大津第12団)
	： 葉 上 彰 保	(浅口第3団)
	： 神 原 彰 仁	(倉敷第14団)
	： 多 田 孝 元	(秦野第1団)
	： 幹 敬 盛	(加古川第2団)
	： 赤 松 久美子	(滋賀県第14団)
	： 當 麻 好 教	(東久留米第2団)
理 事：	源 田 俊 道	(足利第1団)
	： 山 本 哲	(大津第12団)
	： 池 澤 榮次郎	(加古川第2団)
	： 増 渕 俊 哉	(秦野第1団)
	： 山 本 典 子	(東京都第150団)
顧問：	小 堀 光 實	(大津第12団)
相談役：	寺 本 亮 洞	(東久留米第2団)
監 事：	船 戸 俊 宏	(天台宗財務部長)
	： 小 寺 照 依	(延暦寺教化部長)

スカウト活動(教育)とは？

1908年にイギリスのベーデン・パウエル卿によって始められた「よき市民」を育てるための青少年教育活動のこと。今日、全世界156カ国2,500万人のスカウトがいます。その目的は、本来斥候術(スカウティング)であり、相手を偵察するには「知恵」「知識」「技術」「勇気」「観察」「協同」などが必要で、それらを大自然の中で学ばせますが、そのとき人間の力が及ばない世界があることを知り、宗教の存在意義を知ることになります。そこで、スカウト教育では、スカウトたちに「明確な信仰をもつ」ことがすすめられています。したがってスカウト運動は、多くの社会教育団体があるなかで「宗教(信仰)」をベースにした唯一の社会教育運動であるといえます。